

株主の皆様へ

第106期
報告書

2007年4月1日

▼
2008年3月31日

目次

ごあいさつ	①
主な経営指標(連結)	②
セグメント別概況(連結)	②
事業の概況	③、④
株式の概況	⑤
会社の概況、株主メモ	⑥

ごあいさつ



取締役社長 服部 隆

株主の皆様には平素格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社は、機器用電線や通信用ケーブル、ワイヤカット放電加工機用電極線、およびフレキシブル基板（FPC）といった製品群を中心にして、開発設計から製造、販売までの一貫した電線関連事業を営んでおります。

当社第106期（2007年度）におけるわが国経済は、米国に端を発したサブプライムローン問題や原油価格の高騰により景気減速感を強めてまいりました。

電線業界につきましては、銅をはじめとした素材価格の高止まりや改正建築基準法施行による国内住宅投資の減少など、厳しい状況で推移してまいりました。

そのような環境の下、当社におきましては、電線の収益力低下、ワイヤーハーネス品およびFPCの

低迷といった業況に至りました。

その結果、当社の連結業績といたしましては、売上高13,428百万円（前期比1.2%増）、営業利益336百万円（前期比55.2%減）、当期純利益198百万円（前期比54.4%減）となりました。

このような業績を踏まえ、安定的な配当の維持の基本方針から、当期配当につきましては、1株当たり中間配当2円、期末配当2円とさせていただきます。

成熟産業と言われている電線業界にあって当社は中堅電線メーカーとして生き抜くために独自性のあるニッチトップを目指して事業を展開しており、事業の維新を実現して業績の向上に努めてまいります。

また昨年は、電極線のリサイクルを開始し、資源の有効活用や環境負荷の低減に多少なりとも貢献できるものと考えております。

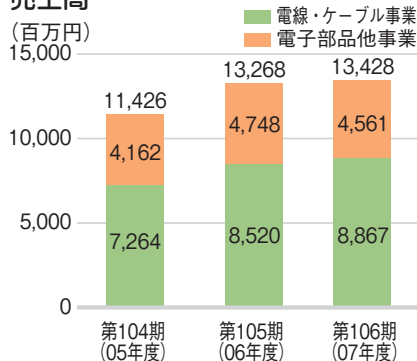
当社は今後とも、企業倫理をしっかりと遵守しながら社会の変化に適応し、電線関連事業を通して社会における情報通信の発展に寄与してまいりたい所存であります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

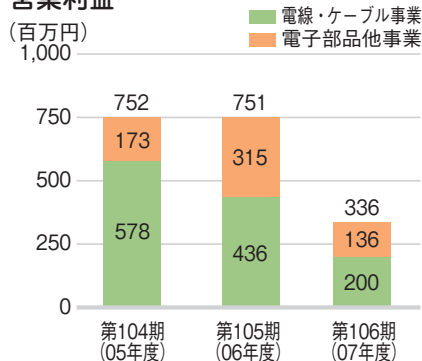
2008年6月

主な経営指標（連結）

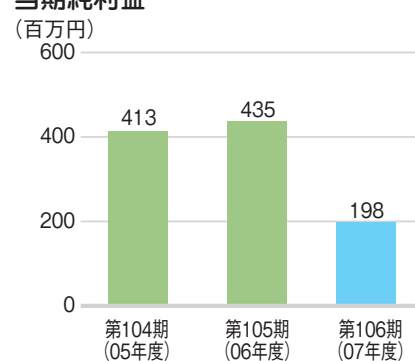
売上高
(百万円)



営業利益
(百万円)



当期純利益
(百万円)



セグメント別概況（連結）

〔電線・ケーブル事業〕

売上高は、銅電線の販売価格の改定が浸透するとともに産業用光製品などの増加により、前期比4.1%増の8,867百万円となりました。

営業利益は、素材価格の上昇分を販売価格の改定により吸収しつつありますが、機器用電線および通信ケーブルの物量減および製品構成の変化により、前期比54.1%減の200百万円となりました。

〔電子部品他事業〕

売上高は、半導体製造装置向けフレキシブル基板、産業用機器向けワイヤーハーネスの需要が低調に推移したため、前期比3.9%減の4,561百万円となりました。

営業利益は、売上減により前期比56.8%減の136百万円となりました。

事業の概況

〔電線事業〕

電線事業は、FA (Factory Automation) ケーブル市場向けの製品を積極的に販売してまいりました。

近年、産業用ロボットの高速・小型化が進み従来よりもさらに厳しい耐久性を持つ高性能ケーブルの要求が強くなってきております。

当社は、長年かけて開発した特殊樹脂をFAケーブルの絶縁材料としては初めて「ORスーパー」に採用し、耐久性を従来品の10倍以上（当社比）まで飛躍的に向上いたしました。

また、フッ素樹脂のようにハロゲンを含んでいないため、環境に優しいケーブルの提供が可能となりました。

今後もさらに耐久性を強化しつつ、経済的で高性能なケーブルの開発に努めてまいります。



ORスーパー

〔ワイヤーハーネス事業〕

ワイヤーハーネス事業は、マシンビジョンに対応した産業装置に使用される画像伝送用の各種インターフェースケーブルの販売を開始いたしました。

産業装置のマシンビジョン化では画像伝送の高速化・高精度化要求が強まり、従来のアナログ伝送方式から最新のデジタル伝送方式に急激に変化してきております。

当社は、カメラリンク等のマシンビジョン用のデジタルインターフェースに対し、特に高屈曲性や高速伝送性を持った、FA用途に最適のインターフェースケーブルを開発いたしました。

今後もこの分野における新製品の販売に注力し、そのブランド力向上とシェア拡大を図ってまいります。



カメラリンクケーブル

〔電極線事業〕

電極線事業は、ワイヤカット放電加工機に使用する電極線を開発、製造および販売しております。

近年、新興国を含めて製造業がグローバルに拡大し、電極線に対する需要も堅調に推移しております。

当社は、2007年12月に100%出資子会社を中国江蘇省常熟市に設立し、電極線の製造および販売を開始いたしました。

これにより、国内販売の拡大のみならず、欧米市場やアジア市場などへの展開にも、より一層注力してまいります。

電極線のパイオニア企業として当社は今後とも魅力ある製品を開発、販売してまいります。

〔FPC事業〕

フレキシブル基板（FPC）事業は、特長ある製品作りにより、お客様の新たなご要求に応えることに注力しております。

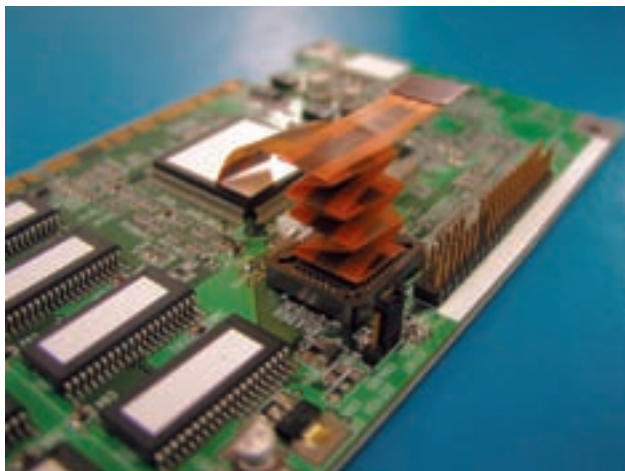
当社は、高速画像伝送等に対応できる『高速（ギガビット）伝送FPC』および電子機器の軽薄小型化に対応する『極薄・高柔軟性FPC』を開発し、PC、AV機器、医療機器、産業機器などのメーカーに採用されております。

また、当社の長尺FPCは数十メートルの長さまで可能な独自製品であり、主に半導体・液晶製造装置に採用されておりますが、医療、ロボット、車載用途などに販売を拡大しております。

今後も独自性の高い製品開発により事業の競争力を高めてまいります。



日沖電線（常熟）有限公司



極薄・高柔軟性FPC

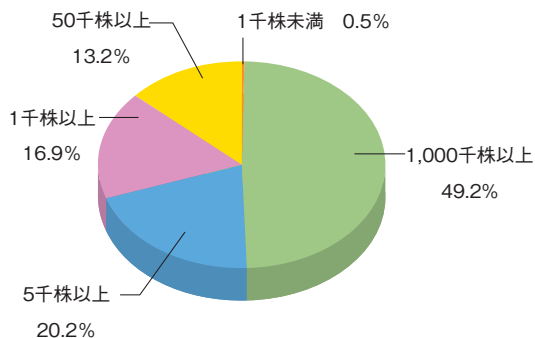
株式の概況 (2008年3月31日現在)

発行可能株式総数 150,000,000株
 発行済株式の総数 37,326,075株 (自己株式1,664,795株を除く)
 株主数 6,276名
 大株主の状況

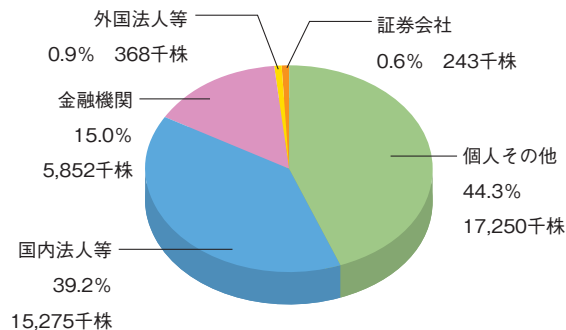
株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
沖電気工業株式会社	13,075千株	35.0%
明治安田生命保険相互会社	2,125	5.7
沖電線取引先持株会	1,341	3.6
株式会社損害保険ジャパン	1,000	2.7
株式会社みずほコーポレート銀行	575	1.5
みずほ信託銀行株式会社	436	1.2

(注) 出資比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の所有株式数別の状況



株式の所有者別の状況



会社の概況

設立	1936年7月16日
資本金	4,304百万円
従業員数	349名（2008年3月31日現在）
主な事業内容	電線・ケーブル：機器用電線、放電加工機用電極線、通信ケーブル、光製品 電子部品他：フレキシブル基板、ワイヤーハーネス、統合配線システム、テナント
役員 (2008年6月26日現在)	取締役社長 服部 隆 常勤監査役 笠井 紀 明 常務取締役 和田 健 司 常勤監査役 池田 力 取締役 佐藤 弘 史 監査役 稲川 隆 久 取締役 深山 憲 蔵 監査役 田井 務 取締役 金澤 善 一 取締役 浅井 裕

(注) 1. 取締役浅井裕氏は、社外取締役であります。
2. 常勤監査役池田力、監査役稲川隆久および田井務の3氏は、社外監査役であります。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める日 〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324（フリーダイヤル）
同事務取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 電子公告アドレス： http://www.okidensen.co.jp/
ホームページのご案内	ホームページでは、当社のニュース、製品のご紹介など様々な情報を掲載いたしておりますので、こちらをご覧ください。 http://www.okidensen.co.jp/

[本 社]

〒211-8585
川崎市中原区下小田中二丁目12番8号
☎(044) 766-3171

[工 場]

群馬工場

〒370-0105
群馬県伊勢崎市境伊与久3344番地1
☎(0270) 76-4311

岡谷工場

〒394-8686
長野県岡谷市長地御所二丁目10番1号
☎(0266) 27-2255

[営 業 所]

仙台営業所

〒980-0802
仙台市青葉区二日町3-10
グランチャリオビル
☎(022) 266-0855

群馬営業所

〒370-0105
群馬県伊勢崎市境伊与久3344番地1
☎(0270) 76-4300

長野営業所

〒394-8686
長野県岡谷市長地御所二丁目10番1号
☎(0266) 27-1597

名古屋営業所

〒460-0003
名古屋市中区錦一丁目11番20号
大永ビル
☎(052) 201-2130

大阪営業所

〒564-0045
大阪府吹田市金田町5番18号
☎(06) 6337-2681

福岡営業所

〒810-0072
福岡市中央区長浜
一丁目1番35号新KBCビル
沖ウインテック株式会社九州支店内
☎(092) 738-1685

[海 外 子 会 社]

廈門多威沖電線有限公司

中国福建省廈門市海滄新陽工業区
新景路2号
☎(+86) 592-688-5199

日沖電線（常熟）有限公司

中国江蘇省常熟市辛庄镇張橋西環路19号
☎(+86) 512-5299-2059



この用紙は再生紙を
使用しております。

環境に優しい
大豆油インキを使用